

一般社団法人佐賀青年会議所 2025年度基本方針	
70周年準備・共創委員会 委員長 友田香将雄	
委員会 スローガン	やるからには全力で！ かついい大人になるための挑戦！ ～「社会課題解決運動」から「社会開発運動」へ～
委員会 基本方針	現在の社会課題に対する解決運動から、今後予測される社会に対する積極的なアクションを起こしていく「社会開発運動」の視点を未来のリーダー候補があつまる一般社団法人佐賀青年会議所全体で共有し活動を行う事で、佐賀青年会議所が今以上に能動的集団として進化する事により、会員各自が佐賀県の地域・経済・そして自らの価値を高めていく力を創造します。
委員会 設置背景	新型コロナの影響で前回の65周年式典が規模が縮小されたため、2026年の70周年記念式典では組織の成長や団結力を強化する重要な機会とされています。佐賀県は平成27年度から市民社会組織・非政府組織の誘致を進めていますが、これらの組織は財政問題を抱えており、社会課題解決が進まない状況です。このため、外部資金に依存せず自らのリソースで持続可能な活動を行う団体が求められ、短期的な対応だけでなく、根本的な社会改革を目指す必要があります。
委員会 設置目的	一般社団法人佐賀青年会議所の創設や成長の歴史を振り返り、過去の功績や挑戦を共有することで、理念を組織全体に浸透させ、今後のビジョンや戦略を明確にします。これにより、組織のブランド価値と存在感を高めることを目指します。また、あらゆるステークホルダーと協働して社会開発運動に取り組み、新たな価値を創造することとした持続可能で包括的な社会改革のムーブメントを作り出します。
委員会 事業概要	1. 佐賀青年会議所70周年準備事業（通年）
	70周年記念式典準備を加速する為、行政を始めとする各種関係機関との情報共有を確実に行うと共に、式典と併せて地域活性化事業を会場周辺にて実施する具体的な計画を構想し、2026年度の実行委員会へスムーズな引継ぎを行えるよう致します。
	◆パートナー
	(1)佐賀県内自治体 (2)歴代周年委員会
	2. 社団法人台南市新營國際青年商會との交流、関係強化（4月）
	日台間は国交を持たず、佐賀県内でも自治体間での交流は無く経済面でも活発であるとはいえない状況です。台南市新營國際青年商會を佐賀に招き、県内自治体や議会への訪問を行う事で県下自治体との日台交流を促進させるとともに、各団体・企業との交流事業を併せて行い、ビジネス面での交流での促進を行います。（4月例会は会務交流会議とします。）
	◆パートナー
	(1)社団法人台南市新營國際青年商會 (2)佐賀青年会議所シニア・クラブ (3)県内自治体 (4)県内企業 (5)県内学生
	3. リーダーシップ開発と成長を考える（6月）
	70周年記念を目前に控え、佐賀青年会議所シニアや現役メンバーが一同の学びとなる「社会により良い変化をもたらすためのリーダーシップの開発と成長の機会を提供する」という青年会議所の本旨に立ち返る機会を設けるべく、政治と経済をテーマにパネルディスカッションまたはフォーラムを開催致します。
◆パートナー	
(1)各政党国会議員 (2)佐賀県内若手地方議員（45歳未満） (3)県内学生	
4. 佐賀市長選挙における候補者の討論会（9月）	

	<p>佐賀市長選挙が予定されている事から、9月例会時に、佐賀県庁所在地である佐賀市を今後どのような展望を持ち運営をしていくのか等様々な観点から各候補者に投げかける討論会を実施します。(9月例会は市長選討論会とします。)</p> <p>◆パートナー</p> <p>(1)佐賀市</p> <p>(2)佐賀市長候補者</p> <p>(3)新聞各社・テレビ等マスメディア</p> <p>(4)ファンリテーター</p>
	<p>5. 地域をより良くするためのイノベーション活動(通年)</p>
	<p>佐賀県内の中学・高校や大学と各国の学校とIoT等デジタルを使った交流事業を行う事によりコミュニケーションツールとしての英語学の重要性を学ぶ機会の提供や国際感覚醸成に繋がります。</p>
	<p>◆パートナー</p> <p>(1)(公社)日本青年会議所</p> <p>(2)行政</p> <p>(3)各政党国会議員</p> <p>(4)通訳者</p> <p>(5)県内学生</p> <p>(6)アジア各国の学校</p> <p>(7)佐賀県内の教育委員会</p>
<p>その他 事業計画</p>	<p>京都会議参加者への支援(1月)</p> <p>河川清掃(4月、10月もしくはその前後月)</p> <p>ASPAC(モンゴル大会)参加者への支援(6月)</p>
<p>拡大目標</p>	<p>委員会5名(全体25名)</p>